



大分県議会議員
自由民主党

宮成公一郎

選出地域：竹田市

令和5年第4回県議会定例会を終えました。追加提案された議案を含む23議案すべてに自民党会派として賛意を示し可決・同意しました。議案の中には物価高騰対策を中心とした358億3,000万円の一般会計補正予算が含まれています。

長く続いたデフレからの脱却を国策として目指してきた中において物価が以前の水準に戻ることは考えられず、国民の所得が上がり福祉の向上が図られるまでの間は、国の経済対策と連動した大分県としての様々な対策が必要となっています。

既決予算額	12月補正予算額	合計
7,438億3,551万円	358億3,650万円	7,796億7,201万円

■12月補正予算の概要

電気料や都市ガス等のように国の対策には含まれていないLPガス消費者に対して、県として1契約につき1,500円を追加で助成するほか、乗合バス・タクシーの燃料費支援、畜産農家への支援（子牛価格差上乘せ補填・優良繁殖雌牛更新助成）等を「物価高騰対策」として手当てします。

また、介護職員等の処遇改善や中小企業の生産性向上に向けた助成を行うほか、土木や農林の分野での国土強靱化5か年加速化対策に関連する事業等にも多くの予算を措置しています。このほか児童等被害防止に向けたパーテーションやカメラの設置、竹田支援学校の校舎整備も行われます。

項目	予算額	事業の概要
物価高騰対策	23億352万円	LPガスの消費者への助成 乗合バス・タクシーへの補助 太陽光発電等導入の助成 和牛子牛生産性の向上支援 中小企業への金融対策
賃上げと生産性向上	12億3,781万円	介護職員等の処遇改善 中小企業等の生産性向上
災害に強い強靱な県土づくり	318億6,041万円	国土強靱化（土木建築・農林水産） 農林水産業成長産業化への事業推進
その他	4億3,476万円	児童等被害防止対策の推進 県立学校の施設整備

■国への要望活動

自民党会派では、これまでに多くの要望や提言を県民、業界、市町村等から受けてきました。

これらを受け地域の実情・課題等を調査研究した上で、11月6日(月)から7日(火)に熊本・福岡で、21日(火)から23日(水)には上京し、国等の機関に対して関連事業の新年度予算確保に向けた要望・要請活動を行いました。

宮成も、九州農政局で「大野川上流地区の農業用水の安定供給」、国土交通省及び九州地方整備局で「中九州横断道路の早期整備」について、現状を報告し今後の事業推進に向けて具体的な意見を述べました。



大蘇ダムの浸透原因の早期解明と大谷ダムの健全化に向



中九州道・東九州自動車道・東九州新幹線の整備、豪雨災



持続的な賃上げに向けた環境整備、コンビナートを中核と



坂本哲志副幹事長（当時：現農林水産大臣）に阿部県連会



白坂亜紀参議など県選出国會議員とともに訪れた国土交通省道路局長室

■「おんせん県おおいたアドベンチャーツーリズム条例(仮称)案」

大分県議会は、二元代表制の一翼を担い政策立案機能の充実・強化を図るため、議員提案による条例制定、政策立案・提言等について協議・調整するため政策検討協議会を設置しています。

本年度、宮成は10名の委員の一人として協議に参加していますが、「おんせん県おおいたアドベンチャーツーリズム条例(仮称)」を議会提案として今年の第1回定例会(3月議会)に提案する予定で準備を進めています。

前文	<p>○大分県は、アドベンチャーツーリズムの推進において大きな可能性を秘めている。</p> <p>○アドベンチャーツーリズムには、人々の自然や文化を愛し保護する心を醸成し心豊かな人材を育成するとともに、地域に経済的な豊かさをもたらすなど、様々な期待が寄せられる。</p> <p>○国内外から訪れる旅行者に安全で安心なアドベンチャーツーリズムを提供することで、県民が郷土への誇りを高めその魅力を自ら発信する契機とし、自然や文化を守りながら、活力にあふれ、経済的にも発展していく持続可能な地域を形成していくことを希求。</p> <p>○県、県民、ガイド及び事業者の責務や役割を定め、一体となってアドベンチャーツーリズムを推進することを旨とし、この条例を制定。</p>
目的	<p>アドベンチャーツーリズムの推進に関し、基本理念を定め、県の責務並びに県民、ガイド及び事業者の役割を明らかにし、並びに県の施策の基本となる事項を定めることにより、アドベンチャーツーリズムの推進に必要な施策を効果的に実施し、もって人々と自然・文化とのふれあいを通じた豊かな人材の育成、自然・文化の保護及び地域の活力の創造を実現することを目的とする。</p>
基本理念	<p>○人と自然との共生及び持続可能な地域の形成</p> <p>○地域の自然・文化を正しく理解し、保護していくような豊かな人材の育成</p> <p>○観光関連産業のみならず様々な産業を振興</p>

辰年の年が明けました。皆様、大過なくお健やかに新たな年をお迎えできたでしょうか。

他方、昨年暮れから政党・政治家の資金管理団体の報道が中央政界を揺るがしています。

国民の政治不信を払拭するためには、政治資金の透明化を徹底するしか道はありません。

災い転じて福と為す。これを機に若者が政治に関心を持ってくれるよう期待しています。

新年にあたり、初心を忘れず政治活動を行うことを改めて肝に銘じた正月となりました。

東京で出会った竹田人



「地獄蒸し祭りin東京タワー2023」の会場には山室稔社長(久住高原ホテルの運営会社のオーナー)の姿。竹田市の広報・宣伝を東京で精力的に行ってくれている。

地方移住を応援するふるさと回帰支援センターには幼少の頃からの同級生の姿
@東京・有楽町駅至近

元日の夕刻、能登半島を襲った地震、そして津波、火災、土砂崩れ…。さらには翌日の航空機事故。寒さに震え、揺らぐ大地に怯え、終わりの見えない不安な日々を過ごしている姿を思うと胸が痛みます。お亡くなりになった方々にお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。皆様と共に「明日は今日よりきっと良くなる」と信じて、一日一日を過ごしていきたいと思っています。